

## 中央大学国際経営学部 見学調査報告書

調 査 テ ー マ	対外経済政策を中心とする経済産業省の役割と職員の業務
調 査 日	2019年10月31日(木)13:30~15:15
調 査 先	経済産業省 通商政策局 通商機構部 国際経済紛争対策室 総括補佐 荒井次郎 氏 通商政策局 経済連携課 課長補佐(日米交渉・TPP・RCEP) 高橋拓磨 氏
担当教員身分・氏名	准教授 国松麻季
授業科目/学部企画名	訪問調査(「企業訪問」)
参加学生数(学年)	1年生 35名
調 査 趣 旨 ・ 目 的	経済産業省の全体像、対外経済政策に係る役割、最近の課題や取組み、職員の業務などにつきご説明を聞き、質疑応答を行う。
調 査 結 果	<p>荒井総括補佐より経済産業省の全体像を伺ったのち、お二人よりそれぞれ学生時代の興味関心、入省以来取り組まれてきた業務の内容、心掛けてきた点、現在や将来の想いなどについてプレゼンテーションをしていただき、そのなかで、事前学習の際に学生が持った疑問点にもお答えいただいた。後半は2グループに分かれて学生からの質問に答えていただいた。</p> <p>プレゼンテーションでは、2、3年ごとの人事異動、省内や産業界との人的ネットワークの形成、「空飛ぶタクシー」や「自動車業界の研究開発」などの個別事項など多くの点が学生の関心を刺激した。</p> <p>グループでの質疑応答では、両グループとも「大学生時代にやっておくべきこと」について質問があり、英語を学習し、将来の舞台を広げることが重要であるとお答えいただいた他、仕事のうえでのモチベーション、新しく出会う方との関係構築、就職先の検討にあたってのアドバイスなど、話題は多岐に渡り、予定の時間を延長してご対応いただいた。</p> <p>ご対応いただいたお二人より、熱心な学生の態度を評価いただくとともに、今後も質問があれば遠慮なくお受けしたいとの有難いお申し出をいただいている。また、学生の事後レポートから、今回の訪問が修学のうえでも、進路を検討するうえでも大きな刺激になっていることが把握された。</p>

ご対応者のお二人(左 荒井総括補佐、右 高橋補佐)



「METIで一番おしゃれな部屋」をご用意いただきました



学生代表から冒頭の挨拶



お話に惹きこまれる学生たち(1)



お話に惹きこまれる学生たち(2)



わかりやすいプレゼンで産業政策に係るお仕事の地道さと楽しさを話していただきました



生き活きとしたやりとり



学生代表からお礼の挨拶

